

平成30年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担当課	点検評価委員の意見	対応策 (平成31年3月末の経過報告)
1	ICT技術を活用した英会話交流事業	学校教育課	平成29年度から市の独自事業として始めた事業であり、相手校の選定、交流時間、通話環境等について改善を図り、英語でのコミュニケーション作りを進めていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・バコール市のルース教育長より、新しい交流校としてマンボック小学校が推薦され、8月末に現地へ訪問して交流に関する打合せを実施した。 ・岩瀬小学校とバヤナン小学校の交流は継続し、新しく桃山学園とマンボック小学校が交流を開始した。 ・双方の昼休み時間を利用して定期的に交流を行った。 ・両国のインターネット通信環境が異なるため、通信状態の一番良いビデオ通話ソフトを利用するなど対応を工夫した。 ・児童にアンケート調査を行い、来年度の交流に活かす。

平成30年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担当課	点検評価委員の意見	対応策 (平成31年3月末の経過報告)
1	一般職非常勤職員任用事業 (教育補助員)	教育指導課	特別な支援の必要な児童生徒は年々増加し、障害の範囲も多様化している現状の中で、今後も実態に応じた予算措置と適正な任用事務を要望する。	<p>○適正な任用事務のために以下のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月：各学校からの教育補助員要望書提出 ・ 12月：各学校の要望について現地調査（授業参観・教員からの聞き取り） ・ 2月：広報紙及びハローワークにて募集 ・ 3月初旬：面接及び教育補助員の配置計画の決定 ・ 年2回の教育補助員の研修会の実施（4月・9月） <p>○市教育研究会「特別支援教育部」と連携した教員の指導力向上のための研修の実施</p>

平成30年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担当課	点検評価委員の意見	対応策 (平成31年3月末の経過報告)
1	学校警察連絡協議会運営助成事業	生涯学習課	<p>子どもを守る110番の家については認知度はあるものの、登録者宅が不明確になっている現状もあり登録者宅の現況の把握を行い学校にも登録者宅を認知してもらおう等の改善をお願いしたい。</p>	<p>・登録者宅の現状確認の一環として、空き家確認を実施。関係課（都市整備課）より空き家リストを提供してもらい、110番の家の登録者との突合せを行う。さらに、学校、警察、関係団体と連携し、情報共有を強化していく。</p>

平成30年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担当課	点検評価委員の意見	対応策 (平成31年3月末の経過報告)
1	スポーツ推進委員運営事業	スポーツ振興課	<p>体育協会とは別に、スポーツ推進委員の役割として、スポーツ施策の企画や全体の調整など主体的な取り組みが求められている。 これからのスポーツ推進委員には、市のスポーツ振興全般をリードするような活動を要望する。</p>	<p>・市民がスポーツ・運動への意識を高め、健康で豊かな生活が送れるよう、スポーツ推進委員が研修会やイベントの開催を通じて、誰もが参加し、実践する機会を持てるようなニュースポーツを取り入れる等、総合型地域スポーツクラブ等との連携した取り組みを行い、市民のスポーツ実施率を高める。</p>

平成30年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担当課	点検評価委員の意見	対応策 (平成31年3月末の経過報告)
1	まかべ幼稚園運営事業	まかべ幼稚園	<p>入園園児数が、ここ数年で大幅な減少傾向にあり、平成29年度開催の公立教育・保育施設のあり方検討委員会においても、子どもたちにとって大事な資質を養っていくための機関としては不十分ではないかとの見解があり、存続を含めて行政の判断に委ねるとしている。今後、行政として適切な判断をお願いしたい。</p>	<p>来年度からの園児の募集停止が決定し、平成31年をもって閉園となります。 新年度の園児は、年長組のみの9名となる予定ですが、これまで同様の遊びや学び、そして様々な体験が出来るよう、少数での行事等について計画、検討し、園児が安全に安心して楽しく過ごせる環境の整備・運営に努めたい。</p>

平成30年度教育委員会事務点検評価後の対応について

番号	事務事業名	担当課	点検評価委員の意見	対応策 (平成31年3月末の経過報告)
1	献立物資検討会運営事業 (学校給食)	学校給食センター	毎月1回、栄養教諭・栄養士・給食主任・給食センター職員により、献立物資検討会議を実施するなど、工夫がされており、今後も質の高い給食を提供できるようお願いしたい。	・限られた原材料費を有効利用できるよう、センター職員と学校関係者及び栄養教諭等が携わることにより、望ましい食習慣の形成や食に関する理解を深め、バランスの良い、質の高い給食の提供ができるよう努める。